西坂地区まちづくり協議会準備委員会
第１回「西坂なんでんかんでんしゃべろうで」実施報告書

日時：令和 8 年 6 月 28 日（日）10：00～12：20
場所：西坂小学校体育館　　参加者：42 名

1. 開会
- 準備委員会委員長あいさつ
- 「住民一人ひとりの率直な意見を出し合い、西坂地区をより良い地域にしていきたい」との趣旨説明。



2. 来賓等あいさつ
- 長崎市地域コミュニティ推進室より、「西坂なんでんかんでんしゃべろうで」の進め方及び職員紹介。
- 来賓（ごうまなみ県議会議員）より、少子高齢化・人口減少の中で地域のつながりを深め、未来へつなぐまちづくりへの期待が述べられた。



3.「西坂なんでんかんでんしゃべろうで」の開催経緯説明

（1）現状と課題
- 全国・長崎市ともに人口減少、高齢化が進行。
- 西坂地区も人口減少が続いており、高齢化率も上昇。
- 一世帯当たりの人数減少により、地域や家庭で支え合う仕組みづくりが必要。



（2）地域コミュニティ連絡協議会について
- 地域団体が連携し、地域課題を解決するための組織として設立を目指す。
- 長崎市内では多くの地区で設立済みであり、西坂地区も設立に向けた取り組みを進めている。



（3）これまでの経過
- 説明会・準備委員会を経て、第 1 回目の開催に至った。
- 今後 3 回程度のワークショップを通じ、まちづくり計画を策定予定。

4. グループでの話し合い（※主な意見を抜粋）

自己紹介後、「西坂地区に暮らしていて、感じることは？」をテーマに、グループごとに意見交換を実施。

【いいところ（魅力）】
- 長崎駅に近く交通利便性が高い。
- 西坂小学校など教育環境が身近にある。
- 26 聖人殉教地、本蓮寺など歴史・観光資源が豊富。
- 景色が良く、長崎らしいまちなみが残っている。
- 少人数校ならではの温かい教育環境。





【心配なところ（課題）】
- 人口減少・空き家増加。
- 西坂小学校より上部地域と下部地域の環境・利便性の差。
- 道路・階段が狭く、高齢者や子育て世帯には生活しづらい。



発行日：令和８年７月７日
作成者：西坂地区まちづくり協議会準備委員会事務局

・バス便減少など交通面への不安。
・子どもの遊び場不足。
・自治会・子ども会加入者減少。
・災害時の避難や生活への不安。



【今後のアイデア】
・空き家の有効活用。
・地域全体で子どもが参加できるイベント開催。
・西坂地区の歴史を活かした「まち歩き（さるく）」。
・世代を超えた交流の場づくり。
・地域コミュニティ協議会を活用した活動の充実。





5. 各グループから意見発表（※主な意見を抜粋）
特に印象に残った意見を各グループから発表。
・御船蔵町で高齢者と子どもの交流サロンを継続している取り組み
・地域の歴史資源を活かした活動への期待
・子ども・高齢者を含めた多世代交流の重要性　などが共有された。



6. 参加者感想（※主な意見を抜粋）
・地域の課題や魅力を改めて知ることができた。
・世代を超えて話し合える貴重な機会だった。
・西坂地区の歴史や地域資源をもっと活かしたい。
・地域全体で子どもたちを育てる仕組みが必要。
・第 2 回以降も継続して参加したい。





7. 閉会
準備委員会より、
・本日の意見を第 2 回・第 3 回へつなげ、西坂地区まちづくり計画へ反映していくことを説明。
・次回以降も知人・近隣住民への参加呼びかけを依頼し閉会。





【第 1 回「西坂なんでんかんでんしゃべろうで」に対する事務局所感と次回以降開催に対してのお願い】
想定人数（60～80 名）には届かなかったものの、多世代の参加者が活発に意見を交わし、西坂地区の魅力や課題、将来への思いを共有する有意義な機会となりました。
今後開催予定の第 2 回・第 3 回では、今回出た意見について、さらに深く掘り下げ、西坂地区のまちづくり計画に反映させていきます。
西坂地区に関わっている皆さんで「やってみたい！」「こんなことができそう！！」など一緒に語り合いましょう！